



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}



この授業を受けて、原爆のこわさ
についてよく分かりました。もし、
私がここにいたらということも考
えるととても恐いです。
そして、当時の広島は、悲惨な状態
にあったことも分かり、そこにある、
死体や被爆者を想像すると、身の毛が
よだちます。また、原爆の威力にも、驚き
ました。3000℃という温度は私の頭では
想像ができません。そして、これからも
原爆について考える機会をつくってほし
いです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

各町にはまだ残りの授業が

原爆についての話は、テレビで見たり、祖母に少し聞いたりしていたのですが、今回、池田先生のお話を聞いて、とても悲しい気持ちになりました。

うまく言葉にはできず、もどかしいのですが被爆する事が、どんなに無残で残酷なものなのかを100%知る事は、実体験をされた方にしかできないと思います。がもしこのお話を聞いて、その1%でも、しっかりと知る事ができたのだとすれば嬉しいです。

いつも私は、このような大事な事から目を背けてしまっていたような気がします。これからは、もと平和について考えるだけでなく、それを実行するところまで行きたいと思いました。貴重なお話を聞くことができ、光栄です。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



私はこれまでに何度か原爆の話を知っていました。しかし、今回の特別授業のように、くわしくそして生々しいものは、初めてです。

原爆によって、一瞬間で人の体が灰になり消えてしまうという話を耳にし、映像を見て、ゾーッとしました。しかも、これが現実で起こったのだと思うと、身ぶるいが止まらなくなりました。

それから、原爆による、高温の程度にも驚きました。特に、地上から600m上空の温度が、太陽の表面温度の6000より高温の7000°Cであるという事実には、目を見開きました。

このような、恐ろしい出来事は、本当に本当に、二度と起こってはいけなさと感じました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

今日の授業で学んだ原子力爆弾の悲惨さ。それは言葉で
や文章で表すことの難しい。唯一一言える事実は広
島県に投下されたリトルボーイ(7000tの少年)の威力。広島を
一瞬にして壊した。爆心地ではなんと3000℃という高温
で人間の体内の水が蒸発させた。また、しかも放射線を
受けて、後遺症として原爆症に苦しむ人がいる。死者は14万人と
広島市人口の40%ほど。

僕はこの原子力爆弾を実際に地上に投下され、多数
の死者が出た唯一の国、日本国の国民として、原爆先
生の特別授業を受けた学生として、原子力爆弾の廃棄
を訴えたい。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

今回、特別授業を聞いて改めて原爆の恐ろしさを知りました。

「エノラ・ゲイ」に積んだ「リトルボーイ」は、広島の人々の命を奪う
とても恐ろしい物でした。

リトルボーイがおちたしゅんかん、辺り一面何も見なくなつた、と
いう話を聞いて自分にはとても想像できませんでした。

しかも太陽よりも熱い7000℃か今の東京タワーくらいの高さまで
来たと聞いて信じられませんでした。

これからこのような事かないように、広島の人々の死が
無駄にならないように、平和な世の中を作りたいです。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

2/13

いままで、原爆について、ほとんど知り
ませんでした。しかし、原爆先生の特別
授業を受けて、原爆はどれだけ
おそろしいのか、どれだけ人を殺して
しるのか、は、きり言うとは怖いです。
しかしこんなにおそろしいものは、二度と
おこしてはいけなると強く思いました。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}



原爆先生のご講演を拝聴しました。

原爆先生の話を聞いて泣いてしまいました。原爆のことを聞いたことはあったけど今日改めて原爆のおそろしさが分かりました。自分は目の前で原爆を見たことがないけど、自分が原爆を体験したと考えただけで、体が焼けたみたいに熱いと感じました。皮膚がはがれて肉が出てきた痛さは考えられるけれど、被爆者の苦しみがどのくらいのものか分かりません。でも、すごく痛くて苦しいのは分かれます。その痛さを味あつた人は24万人もいて、それを考えただけで、目からたくさん涙が出てきます。なのでそのようなことがもう二度とないようにしてほしいです。今度も、原爆ドームに行ったらもう一回改めて原爆のことを考えます。これから、このような悲さんな出来事がないことをずっと祈り続けます。これからも、日本人全員に語りてください。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

原爆先生の特別授業を受講して



私がこの授業を受けさせてもらい、すぐに感じたこと。それは今普通に生活していること、生きていくことが本当に幸せなことだという事です。私達は現在、戦争を日本がしている最中どんな感じだったのか、想像するのは簡単なことではありません。もちろん、(いつ死ぬだろう)とか(日本はどうなってしまうのだろう)とも思いません。でも今回、当時の日本人がどんな思いで戦争を乗り越えたのが少しだけわかったような気がしました。

広島、長崎が原爆を落とされたということは社会の勉強がやり、怖いとただただ思うだけでしたが映像などを見て、怖いというより、どれだけ被爆者は悲しい思いをしてきたのかを考えると悲しくなりました。しかし、現在生きている私達にそんなことを教えてくれて感謝です。これからは日本人として、歴史をしり、背景を知ることが大事だと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



今回、原爆先生のお話を聞いて、原爆でどれだけ多くの方が苦しい思いをしたのかが分かりました。

いままでは、広島と長崎で原爆が起きたことは知っていましたし、多くの方が苦しんだことも知っていました。が、あまり深く考えたことはなかったです。でも深く知ることができました。その中で一番聞いていてつらかったのは、人の亡くなる時です。14万人中2万人が^{原爆で}一瞬で消えたと言っていました。人間が消えるなんて...。とても悲しかったです。それに死亡率が40% (5人中2人) が亡くなってしまった...。それもつらかったですが、そんなこと知らなかったのを知れて良かったと思います。

これからは放射線のことを忘れずに、日本がずっと平和な国であることを願っています。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

原爆先生特別授業について



前に長崎の原爆資料館に
行ったことがあります。

しかし、その時はまだ小学三年生
くらいだったので、あまり理解が
できませんでした。

でも、今日原爆先生に話し
ていたが、とても悲しい、悲し
な出来事なんだというのを
感じました。

知らない名前まできて
意味を聞くと、おそろしいこと
あらためて思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



原子爆弾のいなくわ位置を細かく知ることが
できました。

そして戦争の残こくさや戦争を体験した人
達の気持ちか身にしみてきました。

戦争は色々な爆弾を使い大勢の人たち
をいらいんで殺してほう恐ろしい事だという
ことを理解しました。

だからもう戦争の起こらない平和な世の中
になってほしいと僕は思っています。

爆弾の放射線などで病気になって今も苦しんだ
り、もう人間の姿でなくなってしまう人間達が苦痛
をさげほことがもう二度となかったらいいと強く
思っています。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ



原爆先生に会って話を聞きました。

僕は、今回の特別授業で初めて原爆のお話を
も知ることができました。特に、原爆により
皮膚がただれた人々、その皮膚がただれによ、て
月死がちぎれること、そして原爆により広島市民の4割が
この世を去ってしまったことは大変悲惨な出来事
です。このような惨事も二度と起こさないよう
努力していきたいと僕は思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

6月26日(水) 15:00-16:00



1

原子爆弾の投下は、広島と長崎だけだと思っておりましたが、仮袖になった青森は他にも小倉、横浜、新潟、京都があったことは知りませんでした。衝撃波の速さにも私はおどろきました。衝撃波の速さは440mでこれは音の速さよりも速いことになりま。しかも原爆病で苦しんだり悲しんだりしている人がたくさんいて、そのときに生きていながら4達も関与しては、もうこのようなことを二度とおこなないように努力することが一番大それたことだと思います。そしてこのようなことがあったことを後世の人々に伝えていくことが大それたことだと私は思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

原爆先生の特別授業を受けて



私は今回池田先生の話聞いて、原爆の悲惨さや原爆による被害のことなど、私が今まであまり考えたことのなかったことを改めて考えようと思いました。

17歳という若さで戦争に行き、その後救助活動をしていたという池田先生のお父さん。私は人形などで戦争の時の人の様子を見ても、怖くて、すぐに違うところを見てしまうのに、池田先生のお父さんは、その人形よりもはるかに怖くて、目をそらしたくなる実際の人達を見たという事は、勇気と根気があり、すごいことだと思いました。

よくテレビなどで8月6日の広島原爆の話を見たり聞いたりしていても、悲惨さが伝わってきませんが、今回お話しして頂いたことは、テレビよりも、と詳しく、想像するだけで、身震いしてしまうほどでした。

私は池田さんのお父さんのように、実際に体験したこともなく、なんとなく聞いたことしかありませんでした。しかし、今回、お話を聞き、原爆の悲惨さのことができたので、様々なまだ、原爆のことを知らない人達に伝えていきたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

私は、5年生の頃に広島の実験ドームや、
原爆資料館に行きました。その時、被爆者の模型
を見て、驚き、恐怖というものを感^じました。

しかし、今日、池田先生の話を聞くと、その模型
は「きれいすぎる、ものらしく、とても驚^きました。

初めて、本当の戦争の恐^ろしさを感じました。

そして、戦争は二度としてはいけないものだと
断固として思いました。なぜなら、何の罪のない人達
が、原子爆弾によって命を落とすことは、許される
ものではないからです。

これから先、私は戦争のない世界を作らなければい
けないと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



私はこの2時間を通して改めて戦争の悲惨さを深く感じる事ができました。

人間が大やけどを負って、皮ふごとにはがれ落ちてしまう。私がそのこうけいを目の当たりにしてしまつたら、涙がほろりとでてしまう

ぐらいつらいと思う。それ以上に大やけどを負って激痛とたたかっている方がうらい。

道ばたにぞくぞくと倒れている人間。なんて無さんなんだろう。

私は一度広島市にある原爆ドームを訪ねたことがあります。その時は、遺品や当時の人のやけ後の写真を見て正直目をそむけてしまいました。現実を突きさせられたような気分にもなりました。

私はこの貴重な経験を通して分かることがあります。それは、戦争は二度とあってはならないということです。原爆のことを深く学ぶ事ができて本当によかったです。



原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して



今日、地田さんの言葉を聞いて、原子爆弾の温度が7000°だとわかりました。太陽の表面温度よりもあついことがわかりました。それを聞いてぼくは、日本大陸が7000°に灼けて全滅するんじゃないかと思いました。実際は、広島のとどこか焼かれています。広島市の人口は35万人いました。その40%が死にました。たった1つの、原子爆弾でこんなに人が死んでいたのは、すごくひどいことでした。あと原子爆弾が落とされて生き残った人たちが原爆しょうとになりました。原子爆弾からなんとか生き残った人たちが原爆しょうになった方たちがとてもかわいそうです。地田先生の言葉を聞いて原子爆弾がとてもおそろしいことがわかりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

原爆先生が語ってくれた話

私は今まで戦争の悲惨さについて「かわいそう、でもきつと助けてもらえるんだ…」と思っていました。しかし、それは私の想像であり実際は正反対のものでした。受講してからの私の考えは「かわいそう、でも助けなうとしたときにはもうおしまい…」に変わっていました。どうにか生きているから助ける手をさしのべたのに苦しみながらバタリと倒れてゆく悲惨さ。その悲惨さは、どんなに原爆ドームを見たり資料館を見にいっても本当の戦争が起こったことによつてなつたムゴさなどは伝わらないことを知りました。このことを知つたのは広島原爆の時に遭遇した兵隊さん（現在は亡くなつてゐる）が80代の時に広島平和歴史館にある原爆で焼けこげた人々の人形を展示したコーナーでぼつと口にした「この焼けこげた人々を再現した人形たちは）きれいだ。」という一言でした。

私は、原爆や戦争などの写真や映像は見たことがあり恐いと思うけれどそういう実体験をしたことはもちろん一回もないのでその本当の恐しさやムゴさ、悲しさを知つたことを一度もありません。でも、今日、改めて戦争や原爆がいさきに風景を変えて人間、というものを改めてほう怖さを痛感しました。これからも、人間が人間らしく平和でありますように…。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して



1

原子爆弾は太陽の表面温度をはるかに上回る
7000℃という高温と、音よりも速い衝撃波、
さらに、長年にわたり被害を産む放射線の、
この3つで町と人を消します。そしてあともう1つ、
原爆の恐しさがあります。それは生き残った人を
襲うどうにもできない悲しさです。焼きこげ
た人をトラップに棄せようとしても皮ふがただれて
しまい救えなかったり、目の前の家家族が跡がな
く、一瞬で消え去ったり。これらは前に挙げてき
と同じくらい恐しいものだとはくは感じました。

しかし、現在資料館などではその本物の悲しみは感じら
れませんが、それでもその本物に近い悲しみを感じ、
戦争、原子爆弾について強い責任感を持つた
べきだと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

池田先生 義三さん

私は、実際に戦争を経験したことはありません。しかし、今回その非惨な状況についてをより深く知り、理解することができました。映像を見て、敵も味方も必死だったということかよく伝わってきました。池田先生の父親は、敵軍と戦ったりせず、影で水かの死体などでも運び、人の見えないところで頑張っていた人なのだと思います。つらくても、その現実を受け取め、救助活動を行う姿に感動しました。記録を見ただけでは分からない本当の苦しさ、その時の気持ち、様子がよく分かりました。また、原爆について知らなかった沃山のことを知ることができました。7000℃という太陽よりも熱く、一瞬で周りのものを焼きつくしてしまう原爆。その時の衝撃波は音速よりもはるかに速かった。その事実を知り、やはり原爆はものすごい威力だったんだ、と改めて思いました。太陽よりも熱い原爆を身近で体験し、それを乗り越えた池田義三さんはすごいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

原爆先生の特別授業を受けて



私は池田先生のお話のおかげで、これからはもっと前を向いて進んでいこうと思うことが出来ました。今回の特別授業を受講しておどろくような事実が沢山ありました。しかし、その事実は痛く、今の日本の様子とはほど遠いものでした。池田先生が実際に原爆を体験したというお父様のお話をして下さいました。お父様は17才で軍に入り、原爆がおとされた日には、広島に部下を従えていました。午前8時にお父様達を乗せるトラックがくるはずだったのですが予定通りには来ず、10分まってもそのままでした。やがて、午前8時15分、あたり一面が光におおわれ、耳が刺されるほどの爆音がしたといいます。何が起きたかも分からないまま、お父様達は、起き上がりました。さいわい、何百とあるドラム缶が身を守ってくれたそうです。

1945年から約60年過ぎたころ、池田先生とご両親は広島に再び訪れました。お父様は、原爆資料館に足を運ぶ。原爆を受けて歩く如人の模型の前で「きれいすぎる」とつぶやいたそうです。そのしゃん間、記録と今の間に差がありすぎると感じたことでしょう。原爆のつらさを「本当に知る」ことが出来るのは、体験者だけなのかもしれません。「一期一会」、一生に一度の期会を大切に、私達は、命があるから、今を大切に無いの無いように、何ごとにもしんけんに取り組むことが大事と、あらためて授業を受けて知りました。この経験をお守りにがんばっていかうと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



私は、この原爆先生のお話を聞いて
もと原爆について知り、考える事がで
きました。また、初めて聞いた事が沢
山ありました。私は、今まで原爆がど
んなものなのか考えた事はあまりあ
りませんでしたがこの原爆先生のお話
を聞くと、原爆の詳しい事がよく分かり、
とてもためになりました。途中で少し
心が痛むような話があり、私はショックな
気持ちになりました。原爆を受けた
方々の思いが私の心に伝わり、原爆
がとても悲惨な気持ちになりました。
教科書やニュースで原爆について聞
いたことがあります但实际上に体験
された方のお話を聞けて本当に良か
ったです。私達が将来、大人になる
ときにも次の世代につないでいき
この悲惨な原爆や空襲、戦争の事
を忘れずにこれからも生きていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

今回の授業で様々な事を知りました。例えば、原子爆弾投下都市の条件は、都市の直径が5kmを超えることや、平野であること、空襲がなかったこと、原子爆弾投下目標地点が三方に茨が広がるT字の橋のTの字のたての棒と横の棒が交わる地点であったことに対し、原子爆弾をおとしたアメリカも、よく考えていると思いい、原子爆弾をおとすのはいけないが、少し感心しました。

その他には、原子爆弾の死亡率が40%であること、原子爆弾の衝撃波の速さが、毎秒740mで、音速の毎秒340mよりも速いことで、原子爆弾のひさんさがわかりました。

私は、池田先生のこの話をきき、改めて、原子爆弾のひさんさや、それがもたらすかなしみをしりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

えいせいこうかい



今回原爆先生の特別授業を受講して、
思ったことや感じたことが沢山ありました。
とくに長崎広島以外にも、候補市になった
都市があったことに驚きました。

義三さんが糸子馬喰したことを想像した。
だけで、体がひやっとなりました。

今回原爆先生に色々なことを教えてもらい
こんなことは二度と起ってほしくないと今まで
以上に強く思いました。

これをきっかけに、原爆のことをもっと知って
みようと思います。



原爆先生の特別授業を受講して じゅこう



原爆についての事は知ってはいましたが、体験した方の話を聞いたのは初めてです。やはり体験された方の話はその場面を正確に描いているようでした。聞いている時怖かったのですが、実際に見た方はもっと怖かったと思います。ぼくは孝文斗書や史料では載ってないような話や、原爆の名前がリトルボーイなどという話がきけて勉強になりました。ぼくは改めて原爆は人から色々な大切な物を奪う兵器だと思いました。